

津久戸

7月号

 令和4年6月30日
 新宿区立津久戸小学校

「ありがとう。」は、魔法の言葉

副校長 清水 敦子

相手に感謝の気持ちを伝える「ありがとう。」という言葉は、『人を前向きに勇気づける力のある魔法の言葉』と言われています。日頃から当たり前何となく使っている言葉ですが、そこに意味があることを知ると、使う場面や表現の仕方が変わり、言葉のもつ力を生かすことにつながります。

子供たちの一番身近なコミュニティとは、家族・学校です。その中で、よりよい人間関係を築くためには、互いを認めあうことが大切です。互いを認めあうということ子供たちにとっては、ハードルが高く、少し難しく感じられます。でも、相手への尊敬と感謝の思いをもって接することと考えるとそんなに難しくはありません。

尊敬と感謝の思いを伝えられる「ありがとう。」という言葉は、よりよい人間関係を築く上でとても大きな力になるのです。

アドラー心理学によると、「ありがとう。」という言葉による勇気付けは、自分が関わるコミュニティで『共同体の一員としての自覚をもって行動する意識』につながると言われています。

誰かからの「ありがとう。」がきっかけで人と人とのつながりを感じ、いつか目に見えない「ありがとうの恩返し」や「前向きに考える勇気」となるように、子供たちの気づきを大切にしておかかわっていきます。

ある企業で私達が「ありがとう。」という言葉が1日に何回言っているのかを調査したら、平均7.5回言っているという結果が出たそうです。子供たちの一番身近な『共同体』である学校で、子供たちの周りにこの回数よりも多くの「ありがとう。」という感謝の言葉があふれ、誰かの感謝の言葉から勇気もらって、前向きな思いをもって成長できるような関係を築いていけるようにしていきたいと思います。



今年度の校内研究について

「校内研究」は、子どもたちによりよい学習の機会を提供するために、私たち教員が授業改善に向け取り組んでいくことを言います。津久戸小学校では、昨年度までの生活科・総合的な学習の時間の研究に替えて、「児童の心と体をつなぐ健康教育～体育・保健・食育の観点から～」を主題に、全学年で体育・保健・食育を研究教科・領域に指定して、授業研究を行うこととなりました。

津久戸小学校の学校教育目標は、「知性と教養にあふれたくましく前向きに生きる津久戸の子」です。今年度の研究では、3つの研究教科・領域から、学校教育目標の実現に向けて授業改善を図っていくこととしました。

本校では、体・食・心を一体としてとらえ、相互に関連させながら、「知性と教養にあふれる子」「たくましく前向きに生きる子」の育成を目指します。「体」では、基本的な動きを身に付けることや、自分の生活リズムを知ること、「食」では、自分の食生活を知ること、食への興味関心の向上と、そこから広がる伝統文化を理解し、マナーを身に付けさせます。そして、「心」では、感謝の気持ちや思いやりの気持ち、諦めない心や向上心をもたせます。これらには、ご家庭でのご協力が不可欠です。子どもたちの学校生活が、より楽しいものとなるよう、ご協力をよろしくお願いいたします。

算数少人数指導について

算数少人数指導は、3年生から6年生を対象に実施しています。中学年以降は、学習内容もより抽象的になり、既習事項に積み上げながら学習を進めていきます。それぞれの習熟度や思考の多様性に応じて、きめ細やかに指導できるのが少人数のよいところです。

単元に入る前には、確認テストや本人の希望をとり、チャレンジ、アタック、マスターという3つのコースに分かれます。各クラスとも学習する内容は同じですが、理解するための時間を多くとったり、およそ理解したところでいろいろな問題で練習する時間を多くとったり、基礎・基本を徹底的に身に付けるための復習を含めた内容を扱ったりするなど、算数少人数担当と学級担任が協力し、指導を工夫しています。

苦手をそのままにせず、算数を楽しく学習できるよう、また、生活の中で使う算数の内容を結び付けられるように気を付けていきます。普段の生活場面で学習したことを生かしていると実感できると、より学習への意欲も高まります。ぜひ、ご家庭でも話題にさせていただけるとありがたいです。

【お願い】

- 同居するきょうだい又は親族に風邪症状がみられた場合、PCR検査を受ける前であってもお子様の登校は控えてくださるようご協力願います。
- 新型コロナウイルス感染症の影響等により、お子様のことで不安等がありましたら、担任又は管理職にご相談ください。

【学年の窓から・・・2年生】

1組

先日、クラスで話し合っって学級目標を決めました。皆からの意見をもとに、何回も出てきた言葉や絶対に入りたい言葉を整理して・・・組み合わせ・・・この2つに決まりました。

「友だちとなかよくし、たすけ合うやさしいクラス」
「話をしっかり聞き、ルールをまもる たのしいクラス」

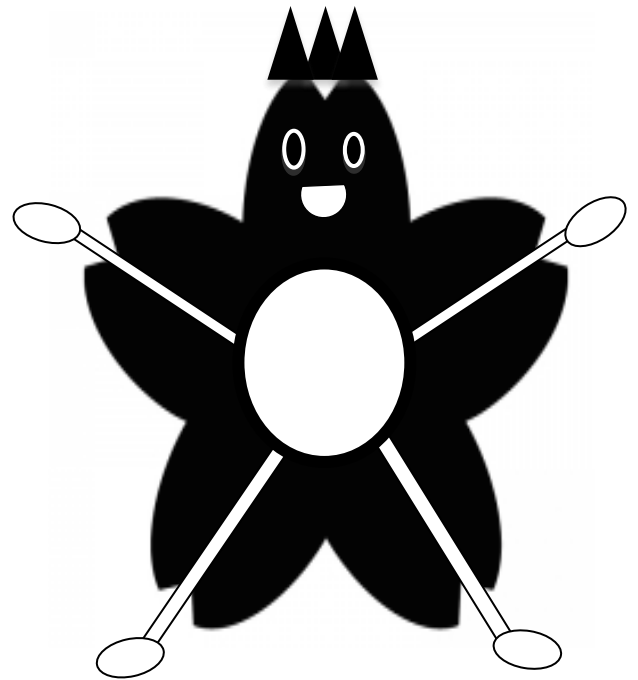
2年生ながらも大切にしたい思いや自分たちの今の課題がよく分かっていて、感心しました。皆で良いクラスにしたいねと話し合えた時間となりました。

今年の学年便りのタイトルは「FRIENDS」です。クラスの友達、学年の友達と輪をたくさん広げ、楽しい学校生活にしていきたいです。

2組

だんだんと暑くなってきて、子ども達の水筒の中身がなくなってしまうことが多くなってきました。子ども達が育てている野菜の土が乾くのも早くなり、水をあげてお世話を頑張る姿が見られます。「今日はこのくらい大きくなったよ」「実がたくさんできた」など、いろいろな声が聞こえてきます。自分の野菜が大きくなるよう、たくさん収穫できるように願いを込めながら育てています。持ち帰った野菜を食べた感想を聞くのが楽しみです。

他にも、メロン、ザリガニと野菜以外も育てています。毎日野菜をお世話したりザリガニをお世話したりと忙しいです。生き物を育てることで、育てる難しさや楽しさを味わってほしいです。



7月の生活目標

『身の回りのものを大切にしよう』

- ・教室や廊下をきれいにしよう。
- ・みんなのものを大切にしよう。
- ・後かたづけをきちんとしよう。
- ・学期のまとめをしよう。



先日、6月の観測史上初の最高気温を記録しました。熱中症予防のため、水筒の中身は多めに持たせてください。ミニタオルやハンカチなども忘れないようお声掛けください。また、冷房のあたり方は座席によって差があるので、寒さを感じるようでしたら、脱ぎ着しやすい上着も持たせてください。

今月は、自分の物に名前を付けて大切に使うことも指導します。そして、自分の持ち物だけでなく、みんなでする物を大切にしようとする心を育てていきたいと思ひます。ご家庭でも、持ち物に対してのお声かけお願いいたします。

(生活指導部)

※行事は変更になる可能性があります。



【お知らせ】

〈図書館開館について〉

